



# BRAND BOOK

人と環境にやさしい価値を届ける



## ブランドブックへの思い

今まで真面目かつ実直に社員・お客様・パートナーと創造し、  
成長しながら築き上げてきたフジシールブランド  
だからこそ、未来へとつないでいかなければならないものがある  
変えるべきは勇気をもって変え、守るべきは守る  
このフジシールらしさをこのブランドブックに思いとしてまとめました  
これからもワクワクしながら、創造のぶつかりあいをしながら、  
社員・お客様・パートナーと一丸で  
フジシールブランドをさらに築き上げていくことが、  
先人たちの願い、わたしたちの願いにつながっていくと考えます



## 変えないこと

### 経営理念

— 包んで<価値>を —  
日々新たなところで  
<創造>します。

### スローガン

創造を<夢>と呼ぶ。  
創造へのチャレンジを<勇気>と呼ぶ。  
創造のぶつかりあいを<信頼>と呼ぶ。

### 行動指針

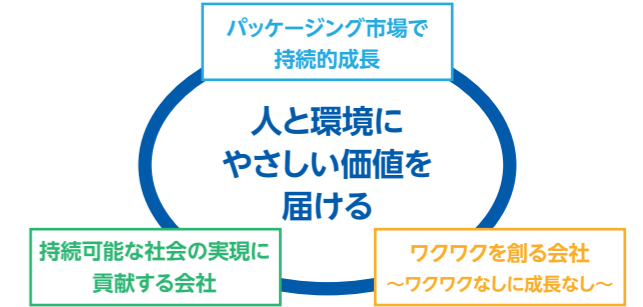
変化とともに変化する

## 新しくすること

### わたしたちのミッション

パッケージングを通じ、  
すべての人が笑顔で安心して暮らせる  
循環型社会・持続的社会的の実現に貢献します

### わたしたちのビジョン～ありたい姿～



## ブランドブックの位置付け

このブランドブックは社員の皆さんだけでなく、  
お客様・パートナー含め社外の皆様にも  
広くフジシールグループを理解いただくためのものです。  
毎年会社の進捗を共有する統合報告書と違い  
このブランドブックはフジシールグループが  
次に「変化」するまでの軸となるものです。

## Contents

- 01 ブランドブックへの思い
- 02 変えないこと・新しくすること  
ブランドブックの位置付け
- 03 わたしたちのビジョン
- 05 わたしたちが変えないもの
- 07 わたしたちが未来へつないでいくもの
- 09 わたしたちが変えていくもの
- 11 未来へつなぐWaku-Waku成長サイクル
- 12 わたしたちが経験してきたWaku-Waku20μmプロジェクト
- 13 包むつながり。未来へのつながり





わたしたちのビジョン

# 人と環境に やさしい価値を 届ける

わたしたちフジシールグループは「パッケージング」の会社です。  
パッケージングを通じ、すべての人が笑顔で安心して暮らせる  
循環型社会・持続的社会的の実現に貢献します。

社員、お客様、パートナーとともに、日々新たな価値を「創造」し、  
しっかりとお届けすることで、わたしたち全員の「夢」を実現します。

パッケージング市場で  
持続的成長

人と環境にやさしいパッケージング会社でありたい

わたしたちはパッケージングを通じて  
人々と社会に豊かさ・幸せ・喜び・安心を届ける会社であり続けます  
これからも環境配慮型製品で業界をリードしていきます  
そのために、わたしたちは勇気をもって変化をチャンスと受け入れ、  
新たな価値を持つパッケージを創造し続けます

持続可能な  
社会の実現に  
貢献する会社

社員の成長、パートナーの成長、株主からの理解と共感、  
これらは会社の持続的成長に必須です

わたしたちは、

- 社員が創造と挑戦をワクワクしながら成長できることを応援します
- 公平・公正を基本とした相互の信頼関係と研鑽で、  
顧客・パートナーと共にワクワクを創造します
- 株主とのオープンな会話を通じ、ワクワクを共有します

ワクワクを創る会社  
～ワクワクなしに成長なし～

持続可能な社会でなければ、  
会社として持続的な成長もありえません

わたしたちはパッケージング会社として、  
循環型社会の実現に積極的に取り組んでいます  
その一つとして、2025年までに売上の100%を環境配慮型製品に切り替えます  
その根幹となる社員とパートナーが、より安全で健康でいられる  
職場環境を追求していきます



わたしたちが変えないもの

# 一包んで〈価値〉を 日々新たなところで 〈創造〉します。

これは、わたしたちがずっと大切にしている経営理念です。

変わらず守っていく経営理念とは、わたしたちの原点であるとともに、初心に立ち返る道標と言えるものです。

この言葉を改めて確認するために、

経営理念について語った名誉顧問 藤尾正明の言葉を再録します。

## 経営理念

1960年代前半、テレビが普及すると、地元でしか売れなかった商品が、このテレビの宣伝によって全国に売れるようになりました。そのため「品質」を保証することが必要になり、フジシールはこれをチャンスとして成長することができました。

また、スーパーマーケットの出現により、メーカーの宣伝よりも地元の大型小売店であるスーパーの声の方がより強くなってきました。この変化で、商品そのものが自分で宣伝することが必要となって、ラベルの表示面積が大きくなり、この時もフジシールはその変化をチャンスとして成長したのです。

このような市場の変化の中から、時代の波を捉えていくには、グローバルに活躍して国際企業と、直接取引をしようという方針を持つようになりました。

また、そのお客様の創る部門(開発部門)、作る部門(工場など生産する部門)、売る部門(販売部門)、それぞれ三つの異質なウオンプスの声を聞きながら、商品を開発していくことを大きな方針の一つとしました。

人間としての喜びの源は、進歩していることが感じられた時ではないでしょうか。自分自身の成長、全社の商品、

業績など、時代の波を捉えて成長していると実感できる、その時こそ喜びや生きがいを感じられる時だと思っています。

“日々の進歩を先ず製品に、全社の業績に、その他あらゆることに顕そう”…これは、1958年～1987年の当社の経営理念ですが、これを今の経営理念に変えて、もう20年が経ちます。

自分自身を、また会社全体をみつめ直そうという気持ちで、皆で討議して今の経営理念

“**包んで価値を 日々新たなところで 創造します**”が生まれました。

地球は空気で包装されているから“今”がある。バナナもリンゴもみかんも、またお米も、それぞれ皮という機能で中身の変質が守られています。この包装という機能は、どんな時代になっても中身が進歩することで、より必要にまた重要になってきます。

我々の経営理念は、“包装”をターゲットにすることを明確にして一本に絞り込もう、そして包装のイノベーターとして未来を創り、社会と共に成長していくことを内外に約束しよう、という思いが込められています。

## 創造を〈夢〉と呼ぶ

包装の未来を創造する、夢の実現。これを、生きる上での生き甲斐にしようではないか。グローバルな組織から社会の変化を捉えて“今”求められているものをクリエイトしていく。

## 創造へのチャレンジを〈勇氣〉と呼ぶ

何年も経験していることでさえミスが起きるのに、誰もやったことのないことなら、失敗は必ず起きる。起こった失敗を朝礼暮改でも良い、失敗の要因を分析し、考えに考えて、またチャレンジする。この繰り返しがあつてこそ、新しい技術や商品が生まれてくるものです。ミスを繰り返している時は、大変な不安と焦りがあります。これを乗り越える、必ず乗り越えられると自分自身に言い聞かせ続ける勇氣、これがないと、その開発は98%で終わり、結果として自信がなくなってしまいます。

## 創造のぶつかりあいを〈信頼〉と呼ぶ

見たこともない、経験したこともないことにチャレンジするので、もっと他の形にとか方法とか、反対の意見が出てきます。この時、本音の議論をして一つのこと決めて、皆でチャレンジしていく。

そして、失敗したらもう一度議論に戻る。この心からの議論(心の葛藤)があつてこそ、お互いの信頼関係が生まれ、また次にチャレンジできるものと信じています。

多くのコンサルタント、先生、また当時の幹部諸君と夜中まで、黒板がチョークで真っ白になるまで議論をした頃を、昨日のように思い出します。

このスローガンが出来上がるまで2～3年続いたかなあ。

会社とは、人・物・金によって存在しているとよく言われます。しかし、人によって商品が生まれます。人によって創造があります。人によって権利、お金が生まれます。何と言っても会社は人が基本です。人は夢があつてこそ、生き甲斐や幸せを感じられるのではないのでしょうか。

今、ガンソリンが大幅に値上がりしました。これらの変化は今まで経験したことのない大きな変化です。フジシールは、この“今”をチャンスとして、勇氣を持って生まれ変わるきっかけにしたいと頑張っています。

小学生の子どもでも何かでNo.1になりたいと頑張ります。オリンピックの選手でもNo.1になろうと頑張ります。

今の大きな変化を捉えて“夢”を、失敗してもくじけない“勇氣”を、そして何事も一人ではできないグループでの“信頼”がベースとなっている「経営理念」と「スローガン」を基に、これからも新しいフジシールを創っていくべくチャレンジしましょう。

自分を活かし 自分を育てる

人を生かし 人を育てる

会社の(自分の)未来を創り

社会と共に成長する

フジシールグループ 創業者

藤尾 正明



# わたしたちが 未来へつないでいくもの

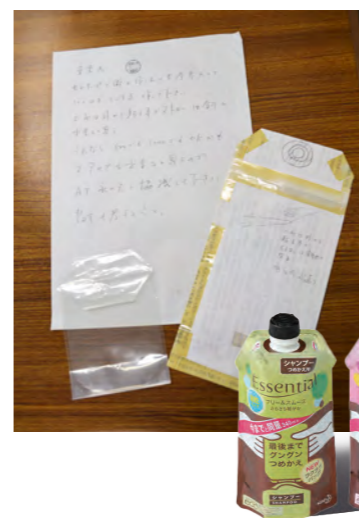


今では珍しくなってきた木製の樽。その呑み口である「樽栓」の製造から、わたしたちフジシールグループの歴史は始まりました。1897年の創業から半世紀ほど過ぎた1950年代に、これまでの業態を転換。木工業から印刷・加工業へ。キャップシールの生産へと乗り出しました。

流通の変化、容器の変化の中、樽栓の需要が先細りする中で、どうしていくべきか。その答えは「メーカーの品質確保」という課題から、ビンの口を封印するキャップシールへ着目。当時、ほとんどが輸入だったキャップシールを作るようになったわけです。

この第二創業以来、わたしたちの歩みは、常に「お客様の声を聴いて、一緒に開発すること」で創られてきました。現在の基軸となっているシュリンクラベルの開発の成功も、まさしくお客様とともに創り上げた成果だと言えるでしょう。

経営の「スローガン」「行動指針」に使われているキーワードを、グループ社員が所属する様々な地域の言語で表しました。



## 変化(ピンチ)こそチャンス 挑戦者たれ

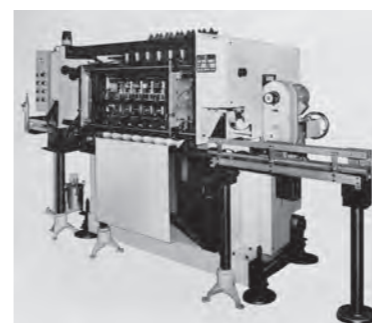
名誉顧問からの手紙とともに届いた手作りのサンプル。ここからさまざまな挑戦が始まりました。本質を突き詰め、課題から逃げずに挑戦し続けた結果、新しい製品の誕生と共にわたしたち自身も成長できました。社員の成長が新たな価値の創造へとつながっていきます。



## お客様の声を直接聴き ともに成長

### グローバルマーケットに進出

わたしたちはお客様からの声を直接聴くことにこだわります。グローバルに活躍するお客様が多く存在する米国と欧州に1970年代に進出したのは、直接声をお聴きし、開発することで、我々の製品を一地域だけではなく、グローバルに通用する製品にすることが目的でした。お客様のニーズをしっかりと受け止め、そこから価値を創造し続けてきたことでお客様とともに成長する礎を築きました。



## 社員の成長とともに

1986年に開始したアイデアバンク。現状に満足せず常に課題を見つけ、解決方法を考えて自らが行動する、そんな風にならざるを得ない多くの社員が創造へのチャレンジを続けてくれることを後押しし、どんどんグローバルな活動へと広げていきます。2020年は6,000件近いアイデアが社員から創造されました。





# わたしたちが変えていくもの

時代時代の流れの中で刻々と変化していく  
 お客様や社会からのニーズに応える。  
 フジシールグループは、  
 常に「変化とともに変化する」を体現しながら成長してきました。  
 今後多様に变化していくニーズに応えていくために、  
 フジシールグループはこれからも変わり続けていきます。



1897

## 樽栓

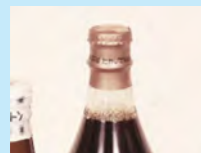
さまざまなサイズの木製の樽栓



キャップシール(封かん機能)



海外へのキャップシール展開



しょうゆ瓶キャップシール

1970

09

1960



シュリンクラベラー  
 (ワンウェーガラス瓶対応)

ガラス瓶にシュリンクラベル  
 (飛散防止機能)



1990



直接印刷から  
 キャップシールへの印刷



シュリンクラベラー  
 (飲料用高速機)

2000



タックラベル(ブックレット)



シュリンクラベラー  
 (20μm対応)



乳白フルシュリンクラベル

2010



乳白ラベル  
 (遮光機能)

シュリンクラベラー(直線機)

2020



エアインフィルム  
 ボトル



鮮やかなメタリック表現



PAGOタックラベラー



大容量製品に  
 フルシュリンクラベル



2層ラベル(おまけシール)



フジパウチ®



# 未来へつなぐ Waku-Waku成長サイクル

変化とともに変化する



## 価値行動

- 情熱を持つ ● まずは行動する
- 探求心を持つ ● 挑戦者であれ
- 異文化を融合する ● トライ&エラー
- 逃げない ● スピード感を持つ
- ステークホルダーと共創する
- 向上心を持つ ● 楽しむ
- やり遂げる

## フジシールの文化

- 素早く決断 ● 常識を覆す挑戦 ● 変化はチャンス ● 顧客の立場で考える ● 失敗から学ぶ ● 失敗を恐れない
- 変化を恐れない ● チャレンジ推奨 ● 一人ひとりの責任感 ● オープンな対話 ● 共存共栄 ● 社員とともに成長
- 多様性の尊重 ● 朝令暮改 ● 全社一丸 ● 仮説・行動・検証 ● 正直・素直 ● 素早く行動

# わたしたちが経験してきた Waku-Waku 20μm プロジェクト

2000年代後半、  
使用する包材の減少等の環境対応への課題が大きくなりました。  
これに競合製品の攻勢も重なり、  
シュリンクラベルとしての対応は急務になりました。  
このピンチをチャンスに変えるために、  
業界の常識を覆す20μmのラベルと装着機の開発が始まりました。  
お客様・パートナーと一緒に数え切れぬトライ&エラーを繰り返し、  
わずか1年という期間でラベルと機械のシステム販売を実現させ、  
見事にチャンスへと変えていきました。







包むつながり。

未来へのつながり。







シンボルマークは、フジシールグループの企業像を表しています。

赤い丸は「情熱」「明るい未来」「夢」「目標」を表し、  
青い2つの曲線は「人」「チームワーク」「未来へのチャレンジ」を  
イメージし、「躍動感にあふれ、チーム(組織)の力を結集して、  
目標達成に邁進している」姿を表現しています。

## 株式会社 フジシールインターナショナル

大阪本社

〒532-0003 大阪市淀川区宮原4丁目1番9号 TEL (06)6350-1080(代)

<http://www.fujiseal.com>

